

散乱光光弾性応力計 SLP-1000

本装置は従来の導波光利用の表面応力では測定できないLi+ ⇔ Na+ 交換による化学強化ガラスの応力分布を散乱光光弾性を利用して測定可能にしました。表面付近にK+の層がある場合は導波光利用の表面応力計FSM-6000による情報と合成して断面の応力分布解析を行うことができます。



- ◎ 屈折分布に依存しない。
- ◎ 曲面ガラスへの対応が容易。
- ◎ ピンポイントで測定ができる。
(レーザースポット径10 μ m)
- ◎ FSM-6000のデータと合成することができます。
- ・ 合成には、別途FsmV用 dongle が必要です。

仕 様

測定範囲	: 応力値 0-2000Mpa、応力深さ 1—400 μ m
測定精度	: 応力 \pm 20Mpa、深さ 5 μ m
光源	: LD (Wavelength 640nm) 30mw Class 3B
測定対象	: 化学強化ガラス、2段強化ガラス、物理強化ガラス
測定形状	: 平面-1000R 10 \times 10mm 以上
プリズム	: nD=1.52
PC	: 専用(OS、測定ソフトウェアインストール済)
OS	: Windows 10 professional edition
寸法	: W 320 \times D280 \times H220mm (本体)
重量	: 10kg (本体)



30-9, Ohyamakanai-cho, Itabashi-ku, Tokyo, 173-0024 Japan
TEL.+81-3-3956-4111 FAX.+81-3-3956-2335

URL: <http://www.luceo.co.jp>